

【前時の振り返り】

1 前回の学習したことを解こう。

- (1) 1885年、我が国の政府の主体を決めました。政府は何という組織が担うことになりましたか。
- (2) 初代内閣総理大臣に就任したのは誰ですか。
- (3) 1889年、アジア初の憲法が発布されました。何という憲法ですか。
- (4) 我が国の議会を何というか。

(1)	内閣
(2)	伊藤博文
(3)	大日本帝国憲法
(4)	帝国議会

【今回の学習】

**学習課題** 欧米列強の侵略と日本の条約改正は、どのように進められたのか。

2 教科書174ページを読んで、20世紀初めの欧米の動きを考えよう。

- (1) 18世紀後半にイギリスで始まった急速な工業化を何といいますか。
- ↓
- (2) この工業化が進んだことで、20世紀初めにかけて欧米各国が、植民地化していった動きを何といいますか。
- (3) 植民地にされた地域は、主にどの州ですか。  
(教科書174ページの上図を見ながら)

(1)	<b>産業革命</b>
(2)	<b>帝国主義</b>
(3)	<b>アジア, アフリカ, オセアニア</b>

3 日本の条約改正について、考えよう。

- (1) この「条約改正」は、何という条約を改正しようとしているのでしょうか。  
→ヒント：1858年
- (2) この条約には、日本にとって不利な内容が2つありました。どのようなものですか。  
**領事裁判権を認めたこと、関税自主権がないこと**

**日米修好通商条約**

- (3) この時の条約改正のようすをまとめた下の年表を、教科書174～175ページを読んでまとめよう。

時 代	条約改正の動き
1878年	<p>( <b>アメリカ</b> ) との間で関税自主権の回復に成功</p> <p>井上 馨 外務大臣による ( <b>欧化</b> ) 政策</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>どんなことをしたのか簡単に書こう</p> <p style="text-align: center;"><b>鹿鳴館を建設し、舞踏会を開くなどして交渉した</b></p> </div>

1886年	ノルマントン号事件が和歌山県沖でおこる。 この事件はどんな事件か簡単に書こう <b>ノルマントン号が沈没した際に、日本人乗客だけが亡くなり、イギリス人船長には軽いばつを与えて済んだ</b>
1894年	( <b>日英通商航海</b> ) 条約 < ( <b>陸奥宗光</b> ) 外相 > ・領事裁判権の撤廃に成功
1902年	日英同盟を結ぶ
1904年	アメリカとの間で条約改正に成功し、実現 < ( <b>小村寿太郎</b> ) 外相 >

### まとめ

< 欧米列強の侵略と日本の条約改正は、どのように進められたのか。 >

- 1 教科書175ページ回を見て、日本の欧米にどう接したのかをまとめる。

**慣れない洋服を着て、ダンスをしたりして気に入られようとした**

- 2 教科書175ページ回を見て、なぜこの事件をきっかけに条約改正になっていったのかをまとめる。

**領事裁判権によって実際にイギリス人が軽いばつだけで済んだことから**

**振り返り①** 今回の学習で分かったこと、疑問に思ったことを書いてみよう。

**振り返り②** ワーク36ページ①をやろう。